

【二】【訳】を参考にして、傍線部の現代語訳として適切なものをも一つ選び、解答欄に番号を記入しなさい。

問一

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

【訳】秋が来たと、目にははつきりと見えないけれども、風の音によつて「秋の訪れに」() (されてしまうことだよ。)

- ① はつと気づく ② びっくり ③ 納得さ ④ 思い出さ

問二

いかゞこのかくや姫を得てしがな、見てしがな。

【訳】何とかしてこのかくや姫を自分のものにしたい、() (たい。)

- ① 夫婦になり ② 見つめ ③ そつと見守り ④ 垣間見し

問三

などか久しく見えざりつる。遠さかる昔の名残にも思ふを。

【訳】どうして長く() (なかったのか。遠さかつていく思い出のよすがにも思っているのに。)

- ① 行方がわから ② 出会う ③ 見られ ④ 姿を見せ

問四

姉のなやむことあるに、ものさわがしくて、

【訳】姉が() (ことがあつて、何かと取りこんでいて、)

- ① 病気になる ② 結婚する ③ 宮仕えする ④ 出産する

問五

いらふき方もなければ、つくづくとうち眺めて、

【訳】() (このでできる方法もないので、しんみりと物思いにふけて、)

- ① 手紙を書く ② 触れる ③ 返事をする ④ 会いに行く

問六

やうやう夜も明けゆくに、見れば、みて来し女もなし。

【訳】だんだん夜も明けていくが、見ると、() (てきた女もいない。)

- ① 帰つ ② 遅れ ③ やつ ④ 引き連れ

問七

「ゆめ、異男したまふな。われにあひたまへ。おほきになりましたたまはむほどにまゐり来む。」

【訳】決して、他の男を夫としなさんな。私と() (てください。大きくなりなさんな頃にお伺いするつもりだ。)

- ① 話し ② 来 ③ 相談し ④ 結婚し

問八

面をのみまもらせ給ひて、物ものたまはず。

【訳】顔ばかりを() (なさつて、ものもおつしやらない。)

- ① じつと見つめ ② 好み ③ 護衛 ④ 重視

問九

わりなく苦しきをねんじてのぼるに、

【訳】どうしようもなく苦しいのを() (て登るが、)

- ① 我慢し ② 拒否し ③ 予想し ④ 困惑し

問一〇

もみぢ葉の散らふ山辺ゆ漕ぐ舟のにほひにめで出て来てにけり

【訳】紅葉の葉がしきりに散る山のあたりを漕ぐ舟の、色の美しさに() (て、「私は」出てきてしまった。)

- ① 心引かれ ② 心変わりし ③ 驚い ④ 茫然自失になら

問一一

日ごろ月ごろなやみわたるがとおこたりぬるも、うれし。

【訳】幾日も幾月も病氣だったのが() (たのも、うれしい。)

- ① 続い ② 快方に向かつ ③ それほどでなかつ ④ 悪くなつ

問一二

先帝の御面影、忘れんとすれども忘れず、しのばとすれどもしのばれず。

【訳】前の帝の御面影が、忘れようとしても忘れられず、「悲しみを」() (ようとしても) (できない。)

- ① 我慢し・我慢 ② 共有し・共有 ③ 文章にし・文章に ④ 忘れ・忘れることが